

KOGAKUIN RACING TEAM

月間活動報告書

2026 April



KRT

KOGAKUIN RACING TEAM

CONTENTS

- ・チームリーダー/

テクニカルディレクター挨拶

- ・4月の日程/5月の予定

- ・各セクションの活動報告

- ・スポンサー様一覧

- ・連絡先

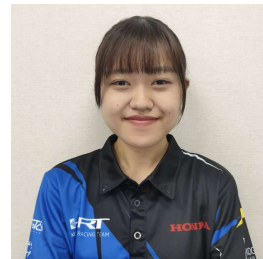


KOGAKUIN RACING TEAM



チームリーダー挨拶

チームリーダー 石井伶奈



新緑の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

4月30日には静的審査の一つである プレゼンテーション審査（BPP）の提出を完了いたしました。昨年度の反省を踏まえ、より説得力のあるストーリー構成を意識して作成いたしました。また、新たに35名の新入生を迎えることができました。新体制のもと、チームは一層活気を増しております。

5月にはデザイン審査資料およびコストレポートの提出を控えております。これまで準備してきた内容を反映させつつ、精度向上に努めてまいります。

引き続き、ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

テクニカルディレクター挨拶

テクニカルディレクター 松本悠暉



新緑の候、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

4月5日には、日本自動車研究所 城里テストセンター様の敷地をお借りして、走行テストを実施いたしました。スキッドパッドを用いた足回りのセットアップおよび、直線路でのエアロデバイス空力試験を行いました。また、4月26日には日野自動車株式会社様のご協力により、羽村工場にて試走を行いました。ここではスキッドパッドや空力試験に加え、新たに騒音試験やドライバー習熟訓練も実施いたしました。車検対策の確認まで、大会本番に向けた準備を多角的に進めております。

5月からは、より実戦的な周回走行の機会が増える予定です。それに伴い、マシンの熱マネジメントなど、高負荷走行時の信頼性向上に重点を置いた開発フェーズへと移行いたします。

引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

4月の日程、5月の予定

2026 年 4 月

	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日
パワトレ	コスト・データ収集			新入生歓迎会	JARI試走	コスト・データ収集	
足周り	組付け		アライメント	新入生歓迎会	JARI試走	試走データ整理	
シャシ	コスト・試走準備			新入生歓迎会	JARI試走	コスト	
エアロ	コスト・データ収集			新入生歓迎会	JARI試走	コスト・データ収集	

	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
パワトレ	コスト						
足周り	POU実測		コスト				塗装
シャシ	コスト						
エアロ	コスト・データ収集						

	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
パワトレ	コスト・デザイン						
足周り	コスト			デザイン			
シャシ				コスト・デザイン			
エアロ	コスト・データ収集						

	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日
パワトレ	コスト・デザイン・試走準備				羽村試走	デザイン	
足周り	塗装	組付け	アライメント	羽村試走	試走データ整理		
シャシ	コスト・デザイン・試走準備			羽村試走	デザイン		
エアロ	コスト・データ収集				羽村試走	コスト・データ収集	

	4月29日	4月30日
パワトレ	デザイン	
足周り	デザイン	
シャシ	デザイン	
エアロ	コスト・データ収集	

2026 年 5 月

	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日
パワトレ	コスト	冷却漏れ修正	試走準備	JARI試走		コスト	
足周り	コスト・組付け	アライメント	試走準備	JARI試走		コスト	
シャシ	コスト・組付け		試走準備	JARI試走		コスト	
エアロ	コスト・組付け		試走準備	JARI試走		コスト	

	5月8日	5月9日	5月10日	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日
パワトレ	デザイン				新入生勉強会	デザイン	
足周り	フレーム実測			デザイン	新入生勉強会	デザイン	
シャシ	フレーム実測			デザイン	新入生勉強会	デザイン	
エアロ	デザイン				新入生勉強会	デザイン	

	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日
パワトレ	車検適合				新入生勉強会	車検適合	
足周り	車検適合・予備パーツ製作				新入生勉強会	車検適合	
シャシ	車検適合・予備パーツ製作				新入生勉強会	車検適合	
エアロ	車検適合・予備パーツ製作				新入生勉強会	車検適合	

	5月22日	5月23日	5月24日	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日
パワトレ	チーム内車検	車検適合		模擬車検	予備パーツ製作		
足周り	チーム内車検	車検適合		模擬車検	予備パーツ製作		
シャシ	チーム内車検	車検適合		模擬車検	予備パーツ製作		
エアロ	チーム内車検	車検適合		模擬車検	予備パーツ製作		

	5月29日	5月30日	5月31日
パワトレ	予備パーツ製作		Honda基礎講座
足周り	予備パーツ製作		Honda基礎講座
シャシ	予備パーツ製作		Honda基礎講座
エアロ	予備パーツ製作		Honda基礎講座



各セクションの活動報告

パワートレイン班

パワートレイン班リーダー 先進工学部機械理工学科 3 年 朝日大介



4 月はコスト審査と並行してデザイン審査に向けた今年度車両のデータ取得を行いました。

4 月 5 日の日本自動車研究所 城里テストセンター様での試走（以下、JARI 試走）では、エアロ班と協力し、ラジエーターファンの有無やフロントウィングがサイドポッドに及ぼす影響を実測しました。

また、4 月 26 日の日野自動車株式会社様の羽村工場試走会（以下、羽村試走）では、エンジンからの放熱がどれほど冷却ラインに熱を与えているかの測定を行いました。弊チームはツインラジエーターを採用しておりますが、弊害としてエンジンに近い位置を冷却パイプが通るため、熱干渉が起きやすいレイアウトになっています。冷却性能の把握のため、実測の場を設けました。下図のように、これまでは左側ラジエーターのインレット及びアウトレットに水温センサーを設置しておりましたが、エンジン熱の実測のため新たに右側ラジエーターのインレット側にも水温センサーを 1 つ追加いたしました。これからデータを活用し、影響を調べてまいります。



Fig.1 両ラジエーターの水温センサー



今年も新入生が入部してくる季節となりました。弊チームにも多くの新入生が訪れてくれました。近年のパワートレイン班は人員不足に悩まされる場面が多くありました。人員不足を解決するため、班としてより力をかけて新入生教育をしてみたいです。具体的な案として、設計するものの仕組み講座やエンジン整備等を通して、上下のコミュニケーションの場をより増やし繋がりを深くするなどを考えております。班として、そしてチームとして強い地盤を築くことに全力を尽くしてみたいです。





足回り班

足回り班リーダー 工学部機械工学科 3年 高橋真育



今月は、試走会、静的資料作成を主に実施いたしました。

JARI 様での試走では、スキッドパッドにおいて POU の 2 番目および 3 番目のポイントにおける、ニュートラルステアのセッティング出しを行いました。その際のセッティング変更では、スタビライザーを用いてロール剛性配分の調整を実施しております。結果として、POU 3 番目のポイントにおいては手ごたえのあるセッティングを見出すことができ、大変実りのあるテストとなりました。しかし、POU 2 番目のポイントについては、まだセッティングを見直す余地が大いにあるという課題も確認できました。そのため、羽村試走においては、主にこの POU 2 番目のセッティング出しに注力いたしました。ここでもスタビライザーを用いた調整を行いました。

以前よりニュートラルステアの獲得を目指し、複数のセッティングを試みておりますが、現段階では理想とする挙動を得るには至っておりません。

大会が目前に迫りつつあるため、今後は取得した実走データとドライバーからのフィードバックを綿密にすり合わせ、迅速にセッティングを絞り込んでまいります。



Fig2. JARI 試走の様子

5 軸加工機を用いたリアアップライトが完成いたしました。現メンバーにとって、アップライトの製作に 5 軸加工機を用いるのは今回が初の試みでした。そのため、幾度も試行錯



誤を重ねる困難な過程もありましたが、大学の先生方や講師の方々から多大なるご助力を賜り、無事に完成させることができました。

しかしながら、製作に想定以上の時間を要してしまったため、大会に向けた実走テストおよびセッティング期間の確保を優先し、誠に残念ではございますが2026年度の大会での実戦投入は見送る決断をいたしました。

今回の5軸加工機を用いた高度な設計および製作の経験は、間違いなくチームの大きな技術的成長に繋がりました。この貴重な経験は今後のより良い車両設計の強固な礎になると確信しておりますので、得られた知見と技術を次の学年へ確実に継承し、次期車両の開発へと活かしてまいります。



Fig.3 完成したリアアップライト

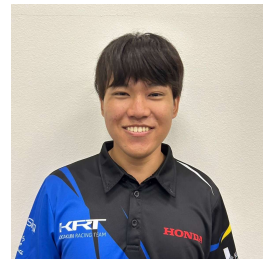
コスト審査に向けて、足回り班としての準備は順調に進んでおります。互いの疑問点を教え合って解消したり、資料をより分かりやすくまとめるために意見を交わしたりと、活発な連携が生まれています。このような過程を通じて、足回り班全体としても、メンバー個人のスキルとしても、確かな成長を実感しております。

チームの目標である「総合3位」を獲得するべく、足回り班として動的審査での高得点を狙うことはもちろんのこと、昨年度の課題であった静的審査における得点力向上にも全力で取り組んでまいります。



シャシ班

シャシ班リーダー 工学部機械工学科 3年 結解和宏



4月は、製作が完了できていない部品の製作、静的審査に向けた資料作りを行いました。

・フレーム

4月下旬に SES（等価構造計算書）の返却があり、無事全項目を通過し合格をいただくことが出来ました。来年度は 1 度目の提出で通過できるよう資料の丁寧さを磨くとともに、大会へ向けマシンを仕上げていきます。

SES Check Sheet 2026 FSAEJ only		Inspection Date	2026/4/19
		2026 ver.04	
Car Number	C12		
Univ. Name	Kogakuin University		
Comprehensive judgment	OK		
Inspectors			
Approval			
Inspection			
Comments			
Item	Conclusion		
SES Tube	OK		
SES-Monocoque	OK		
Front Protection	OK		
EV Modules And Container	OK		
EV Battery Attachment	OK		
Other	OK		

Fig.6 SES の審査結果

また、フレームの塗装を行いました。一度全てのパーツを外し、4度重ねて塗装しました。今回の塗装では 100 グラム増となりましたが、見栄えの向上や酸化防止などの観点からとても重要な作業となります。

以下の写真は塗装前と塗装後の写真です。



Fig.4 塗装前のフレーム



Fig.5 塗装後のフレーム

今後は、五月初旬に実施するフレーム実測の準備に注力してまいります。

・ステアリング

以前の試走会でガタつきが確認できたのでギヤボックスの再製作を行いました。製作ミスで製作が完了できていない状態です。ギヤボックスに関しては、実測までに準備する予定です。

今後は、製作が完了できていない部品の製作、試走会でのトラブルシューティングを行い、大会に向け部品の完成度を高めていく予定です。

・ペダル

アクセルペダルおよびかかと置きの製作を進めてまいりました。

かかと置きに関しては、昨年度まではアルミ製の角パイプを土台として使用していましたが、本年度より3Dプリンターによる製作へと変更いたしました。製作した土台の上にアルミ板を固定し、さらにそのアルミ板に角パイプを溶接した部品を可動式とすることで、ドライバーが踏みやすい位置に調整可能な構造としております。今後の試走会において実際に使用し、最適な位置に設定できるよう調整を進めてまいります。

また、アクセルペダルにつきましては、5月3日から5日に予定されているJARI試走に間に合うよう、引き続き製作を進めてまいります。



エアロ班

エアロ班リーダー 工学部機械システム工学科 3年 菊地祐汰



今月は試走の機会が多い月となりました。先月の試走では主に足回りのセットアップに多くの時間を費やしておりましたが、今月からは空力（エアロ）の計測にも時間を充てることができ、より幅広い試験を実施いたしました。貴重なテストコースをご提供いただいたスポンサーの皆様には、心より厚く御礼申し上げます。

具体的な試験内容としては、パワートレイン班と共同で行った冷却系の評価に加え、空力分野ではタフトを用いた気流の可視化試験や、車両の横Gを測定する試験などを実施いたしました。特にタフト試験では、走行時の気流の挙動を直感的に把握でき、事前のCFD解析で想定していた流れとの差異や、新たな知見を得ることができました。また横Gの計測では、エアロパーツの有無や条件変更による車両挙動の変化を定量的に確認でき、空力性能がセッティングに与える影響をより具体的に捉えることができております。



Fig.7 空力試験の様子

これらの試験を通して、単にデータを取得・解析するだけでなく、その結果をどのように設計へフィードバックしていくかというプロセスがいかに重要であることを強く実感いたしました。特にデザイン審査では、得られた数値の意味を正しく解釈し、次期開発方針へと落とし込む力が求められます。今後は試験結果をチーム内で共有し、他班とも連携を深



めながら、より実効性の高い開発へと繋げてまいります。

来月は静的審査の提出を控えているため、今月の試走で得られたデータや知見を書類作成に最大限活用していく所存です。具体的には、実測データを根拠として設計の妥当性を論理的に説明できるよう整理し、説得力のある資料作成に努めます。また、今回得られた気づきを踏まえ、今後の試験計画や開発方針をさらに精度の高いものへとブラッシュアップしてまいります。



Tools by Sanjo Niigata



連絡先

工学院大学 学生フォーミュラプロジェクト

工学院レーシングチーム (KRT)

顧問

工学部 機械工学科

自動車音響振動研究室 山本崇史 教授

メールアドレス : takashi_yamamoto@cc.kogakuin.ac.jp

2026 年度チームリーダー

工学院大学 先進工学部 環境化学科 3 年 石井伶奈

メールアドレス : s324006@ns.kogakuin.ac.jp

住所 : 〒192-0015

東京都八王子市中野町 2665-1 工学院大学八王子キャンパス 17 号館 1 階夢づくり工房

WEB page: <https://www.ns.kogakuin.ac.jp/www1032/>

Facebook: <https://www.facebook.com/KogakuinRacingTeam>

Twitter: <http://twitter.com/kogakuinrace>

Instagram: https://www.instagram.com/krt_fsae/

